南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和３年１２月号
担当〔山田〕
N0.106

4人目の賢者になろう！

クリスマス聖劇に登場する３人の博士（賢者）たちは,東の国から星の導きによってユダヤのベツレヘムまではるばる長い旅を続け,幼子イエスさまに贈り物を献げます。

ところが,聖書によく目を通してみると,彼らが東の方からやってきたことと,黄金・没薬・乳香の３つの贈り物を献げたことのみが記されていて，実はどこの国の人たちだったのか，何人だったのか，名前は何といったのか，何も記されていません。３つの贈り物が献げられたことから，伝統的に彼らが３人であり,旧約の預言から博士,賢者と考えられるようになったようです。名前もメルキオル，バルタザル，カスパルと呼ばれるようになり，さらに解釈が加えられて，メルキオルは黄金を献げた老人，バルタザルは没薬を献げた壮年，カスパルは乳香を献げた青年とされ，さらにヨーロッパ人，アジア人，アフリカ人と考えられるようになってきました。ちなみに，黄金は王権の象徴，没薬は受難と復活の象徴，乳香は神性の象徴とされています。

これらの話を基にしてヴァン・ダイクという作家が「もう一人の賢者」という短編小説を著しました。この小説は後年「４人目の賢者」として映画化されています。

映画の主人公はアルタバン,４人目の賢者です。彼は,救い主に献げるためにすべての財産を売り払いサファイア・ルビー・真珠の３つの宝石を手に入れます。全財産を救い主に献げようと意気込んでエルサレムまでの旅を始めるアルタバンですが,友人である３人の賢者との待ち合わせ場所に向かう途中で道に倒れている瀕死の男を発見します。約束の時間に遅れてしまうのではないかと気になりながらも,今にも死にそうなその男を放っておくことはできないアルタバン。水を汲み,口に薬をふくませ,手厚く介抱し,回復するまで薬や食べ物を与えているうちに時間が過ぎてしまいます。

４人での出発にとうとう間に合わなかったアルタバンは,３人の賢者の後を追うように一人で旅を続けます。長い旅の間に,彼は,ヘロデ王に虐殺されようとしているベツレヘムの幼子たち,奴隷として売られていく人々,物乞い,病人たち,そして最後に,父親の借金のかたに売られようとしている少女に出会います。彼らを救うためにアルタバンは,救い主に献げるはずの宝石を一つ,二つ,そして最後の３つ目も使ってしまいます。

彼が救い主を探し求めてやっとエルサレムにたどり着いた時３３年の月日が流れていました。都ではイエスという男が十字架の刑に処されようとしています。そのイエスこそ長年探し求めていた救い主だと悟るアルタバンですが,すっかり年老いてしまった彼には残りの力も命もありません。地に倒れたまま,救い主に会う希望も献げる宝石もなく,嘆き悲しむアルタバンに復活したイエスが現れ,声をかけます。

> アルタバンよ,わたしに会えなかったと嘆くことはない。おまえが自分を犠牲にして最も小さく弱い者たちにしてくれた時,わたしはその人たちの中にいた。だから,おまえは何度も何度もわたしに会っていたのだ。おまえが最も小さく弱い者の一人にしてくれたことは,すなわち、わたしにしてくれたことなのだ。おまえの贈り物は既に受け取っている。

映画「４人目の賢者」のテーマは，隣人愛の実行です。映画でも引用されている聖書の言葉に次のような箇所があります。

> あなた方は, わたしが飢えていた時に食べさせ, 渇いていた時に飲ませ，旅をしていた時に宿を貸し，裸の時に服を着せ，病気の時に見舞い，牢獄にいた時に訪ねてくれた。

わたしたちも，すぐ近くにいる弱い人や悩んでいる人，困っている人，泣いている人などの最も小さい人たちの中にイエスさまを見ることができ，隣人愛を実行することができれば，イエスさまに贈り物を献げることができます。そして，わたしたち自身もアルタバンのような４人目の賢者になれるのです。イエスさまから「あなたの贈り物は既に受け取った」と言われるように，クリスマスを迎える心の準備をしたいと思います。

クリスマスの喜びはキリスト信者にだけ与えられるものではありません。イエスさまは,すべての人類のために救い主としてお生まれになりました。

どこの教会でも，２４日の夜にはイヴのミサがあり，２５日にはクリスマスのミサが行われます。クリスマスに限らず, 教会は, 洗礼を受けた信徒ばかりでなく, そうでない方もいつでも歓迎します。年に一度のクリスマスです。お近くの教会に問い合わせて聖夜のミサとクリスマスのミサの時間を確認し, 静かな祈りの中でクリスマスを過ごされてみては如何でしょうか。

聖書の言葉(マタイ福音)

さて、イエスが、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、東方の博士たちがエルサレムに来て、尋ねた。「お生まれになったユダヤ人の王は、どこにおられますか。わたしたちはその方の星が昇るのを見たので、拝みに来ました」。これを聞いたヘロデ王はうろたえた。

……略……

そこで、ヘロデはひそかに博士たちを呼び寄せて、星が現れた時期を確かめた。そして、彼らをベツレヘムに送り出すにあたって言った。「行って、その幼子を丹念に探し、見つけたら、わたしに知らせてくれ。わたしも拝みに行きたいから」。王の言葉を聞いて、彼らは出かけた。すると、彼らがかつて昇るのを見たあの星が、彼らの先に立って進み、幼子のいる場所まで来て止まった。彼らはその星を見て、非常に喜んだ。家の中に入ってみると、幼子が母マリアとともにおられた。彼らはひれ伏して幼子を礼拝した。そして宝箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物としてささげた。その後、夢の中でヘロデのもとに戻らないようにとのお告げを受けたので、ほかの道を通って自分たちの国へ帰っていった。

♧♧ 教室紹介 ♧♧

３年２組　担任　野上 あゆみ 先生

人の話を聞くよりも先に,「先生,見て」「ねえ,みんな聞いて」と,とにかくおしゃべりが大好きなにぎやかなクラスです。明るくて元気いっぱい,笑顔もいっぱいの子どもたちの学級目標は,

・神様の教えを大切にし,
　　やさしくできるクラス
・学びを発揮できるクラス
・健康に気をつけ,明るく元気なクラス

です。

なわとびの時期に入り,難しい技能跳びにも何度も挑戦し,励まし合ったり喜び合ったりしながら,みんなで練習しています。英語のプレゼンテーションでは,身振り手振りジェスチャーを交えて楽しく発表しながらクラス全体が楽しく盛り上がりました。

３年２組には,友達のがんばりや一人ひとりの良さを素直に認めてあげることのできる長所があります。仲間と一緒に何でも楽しくやっていこうとする前向きな点も長所です。自分中心の面を若干残しながらも少しずつ全体のことも考えられるようになってきている成長期の子どもたちの集まりです。